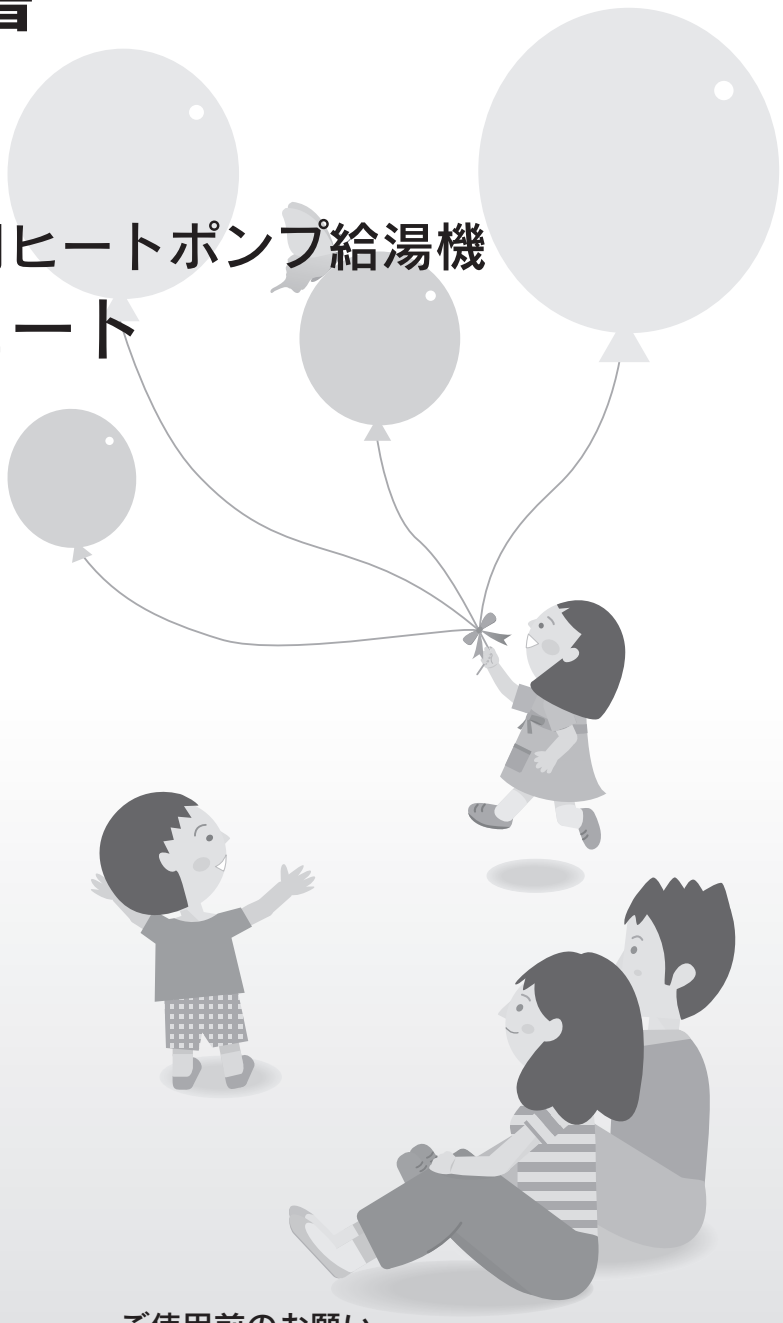
CHOFU

本体取扱説明書

保証書別添付

昼間沸上げ形
自然冷媒（CO_2）家庭用ヒートポンプ給湯機
おひさまエコキュート



形名（システム形名）

[一般地仕様]

EHP-3705AZP-PV
EHP-3705BX-PV
EHP-4605BX-PV

[寒冷地仕様]

EHP-3705BX-PV-K
EHP-4605BX-PV-K

「EHP」はシステム形名です。
※貯湯ユニットの形名は「ET」になります。

ご使用前のお願い

●本書にはリモコンの操作説明は記載されていません。リモコンに付属している「**取扱説明書**」と併せてお読みください。

このたびは長府製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

●ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は大切に保管し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。
●保証書は販売店からお受け取りになる際に、必要事項が記入されていることを必ず確認してください。
●製品改良により、本体・仕様などが説明書の内容と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

20987460（K）

取扱説明書をお読みになる前に

機器のタンク容量・タンク形状・機能タイプを確認してください。



本書では必要な項目で機器のタンク容量・タンク形状・機能タイプを記載して説明しています。
□(太枠)内に英数字や✔(チェックマーク)を記入しておくと、今後お読みになるときに役立ちます。

1 貯湯ユニット前パネルの銘板に表示している形名を確認してください。



「ET」は貯湯ユニット形名です。
※システムの形名は「EHP」になります。

2 貯湯ユニット形名からタンク容量・タンク形状・機能タイプを確認してください。

貯湯ユニット形名：ET- □□ 05 □ □□ -PV -□

	数字(2文字)	英字(1文字)	英字(1～2文字)	英字(0～2文字)

タンク容量

37	□ 370リットル
46	□ 460リットル

タンク形状

A	□ スリムタイプ
B	□ 角型タイプ

機能タイプ

K	□ 寒冷地仕様
記号・英数字なし	□ 一般地仕様

X	□ フルオート
Z	□ ecoとくフルオート

もくじ

ページ

ご使用の前に

取扱説明書をお読みになる前に……2
安全上の注意……4
各部の名称（外観図）……9

必要なときに

日常の点検・手入れのしかた……10
定期点検……14
1ケ月以上使用しないとき……14
水抜き後の再使用方法……15
（エア抜き試運転）……16
冬期の凍結による破損防止について
（凍結予防）……17
（凍結したとき）……19
断水したとき……20
停電したとき……20
地震などの被害にあったとき……20
浸水したとき……20
断水したときや非常時にお湯を取り出す……21
故障かな？と思ったら
（修理を依頼する前に）……22
（ふろ試運転）……26
（エラーコード）……27
仕　様……30
アフターサービス……裏表紙

「リモコンの操作方法と機能設定」はリモコンに付属している取扱説明書で説明しています。

困ったときは？



凍結を予防したい
17・18ページ

おひさまエコキュートの動きがいつもと違う
22～25ページ

お手入れはどうしたらいいの？
10～14ページ

リモコンにエラーコードが出ている！
27～29ページ

安全上の注意（必ずお守りください）

●本書では、人への危害や財産への損害を未然に防止するため、安全に関する重要な内容を次のように分類して記載していますので、必ずお守りください。

⚠警告	人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容です。	⚠注意	人が軽傷を負う可能性、物的損害の発生が想定される内容です。

⚠警告

●分解・修理・改造をしない
火災・感電・漏電の原因になります。
機器内の点検や修理はお買い求めの販売店にご連絡ください。

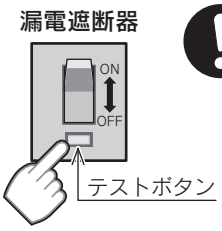
●機器の近くにガス類や引火性危険物を置かない
火災の原因になります。

●貯湯ユニットの前パネルやヒートポンプユニットの配管カバーを開けない
感電の原因になります。

●アース工事がされていることを確認する
故障や漏電のときに感電の原因になります。
不具合があるときはお買い求めの販売店にご連絡ください。

●漏電遮断器は濡れた手で操作しない
感電の原因になります。

●漏電遮断器の作動を定期的に確認する
故障したまま使用すると火災や感電の原因になります。
作動しないときはお買い求めの販売店にご連絡ください。11ページ



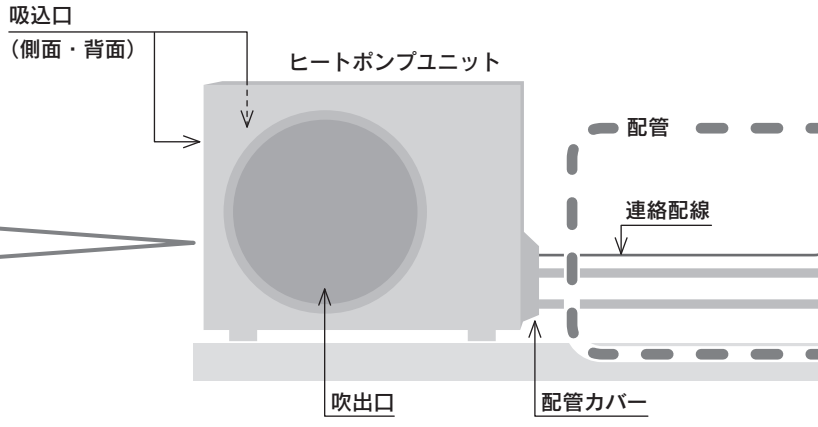
子どもに注意する
思わぬ事故の原因になります。

●子どもをおふろにもぐらせない

●子どもを浴室で遊ばせない

●子どもだけで入浴させない

●ヒートポンプユニットの吸込口や吹出口に指や棒を入れない
けがの原因になります。



熱湯や熱くなる部分に手を触れない
やけどの原因になります。

●給湯時は混合水栓に手を触れない

●取水時・排水時は熱湯に注意し、お湯に手を触れない

●給湯配管やヒートポンプ配管に触れない

●電源配線や連絡配線に無理な力を加えない
重い物を載せたり、引っ張ったりしないでください。破損して火災や感電の原因になります。

●加工したり束ねたまま使用したりしない
火災や感電の原因になります。

●お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。

⃠	禁止 「**してはいけない**」内容です。	❗	実行 「**しなければならない**」内容です。

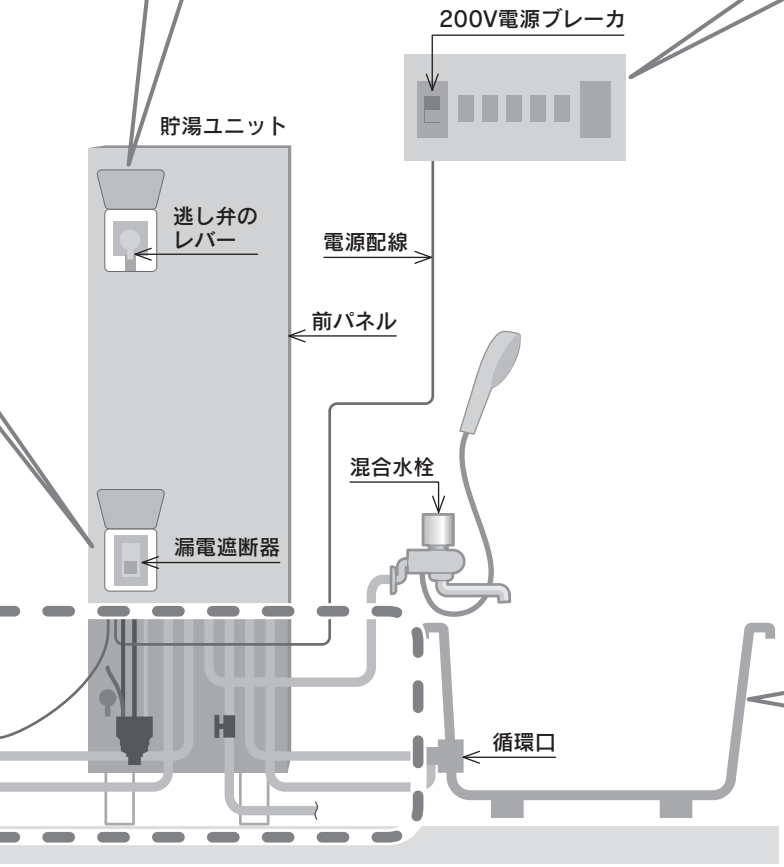
●文中の(○ページ)の数字は参照ページを表します。

⚠警告

●逃し弁のレバーは急に上げない
排水ホッパーから熱湯が出ることがあるため、やけどの原因になります。

●逃し弁の点検時は、逃し弁周辺の配管などに手を触れない
やけどの原因になります。

●異常時(こげくさいなど)は200V電源ブレーカを「切」にする
異常のまま使い続けると、火災・感電・故障の原因になります。
すぐにお買い求めの販売店にご連絡ください。



入浴時は次のことをしない

●循環口を手・足・タオルなどでふさがない
故障の原因になります。

●おふろにもぐらない
事故の原因になります。

●循環口フィルタが緩んだり、はずれたりしたまま使用しない
髪の毛が吸い込まれるなど事故・故障・けがの原因になります。特に小さなお子様には注意してください。

●ふろ自動中・高温たし湯中・追いだき中は、循環口に近づかない
循環口から熱いお湯が出るため、やけどの原因になります。

●浴そうにお湯がないときは、高温たし湯を行わない
やけどの原因になります。
浴そうや循環口のお手入れを行うときは、特に注意してください。

お湯の温度を確認する

●シャワー使用中は使用者以外の人がお湯の温度を変えない
使用者以外の人がお湯の温度を変えたり、「**優先**」を切り替えたりすると、突然熱湯や冷水が出て、やけどや思わぬ事故の原因になります。

●入浴時やシャワー使用時は、必ず手でお湯の温度を確かめる
やけどの原因になります。

●停電中および復帰後にお湯を使うときはお湯の温度を確かめる
熱いお湯が出ることがあるため、やけどの原因になります。

●給湯温度を変更するときは他の場所でお湯を使用していないことを確認してから行う
やけどの原因になります。

安全上の注意（必ずお守りください）

⚠注意

ヒートポンプユニットに関する注意

●設置台が傷んだ状態で使用しない
落下や転倒などによるけがの原因になることがあります。

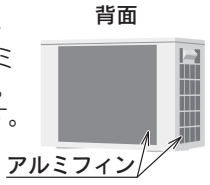
●吸込口や吹出口をふさがない
能力低下や故障の原因になることがあります。

●機器の下や周囲に濡れて困る物を置かない
ドレン水により濡れる原因になることがあります。

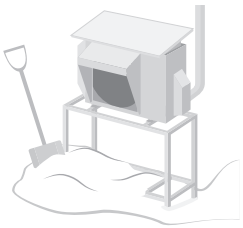
●動植物に風を直接あてない
動植物に悪影響をおよぼす原因になることがあります。

●上に乗ったり、物を載せたりしない
落下や転倒などによるけがの原因になることがあります。

●アルミフィンに触れない
側面や背面の吸込口からアルミフィンに触れないでください。けがの原因になることがあります。



●除雪を行う
積雪で吸込口や吹出口がふさがれると、能力低下の原因になることがあります。



●機器周囲のゴミや落ち葉を掃除する
吸込口がつまると能力低下の原因になることがあります。
また落ち葉などがあると、小動物が侵入して発火・発煙・故障の原因になることがあります。

お手入れ時や点検時は次のことを行う

●漏電遮断器を「OFF」にする
「ON」にしたままお手入れや点検を行うと感電の原因になることがあります。

●お手入れや点検後は操作部や点検口のふたは必ず閉じる
雨やゴミが入ると感電・ショート・漏電の原因になることがあります。

●逃し弁の作動確認を定期的にする
逃し弁が正しく作動しないと水漏れの原因になることがあります。
作動しないときはお買い求めの販売店にご連絡ください。11ページ

●凍結のおそれがあるときは、漏電遮断器を「OFF」にしない
（機器内の水を抜く場合は除く）
配管が凍結して水漏れの原因になることがあります。

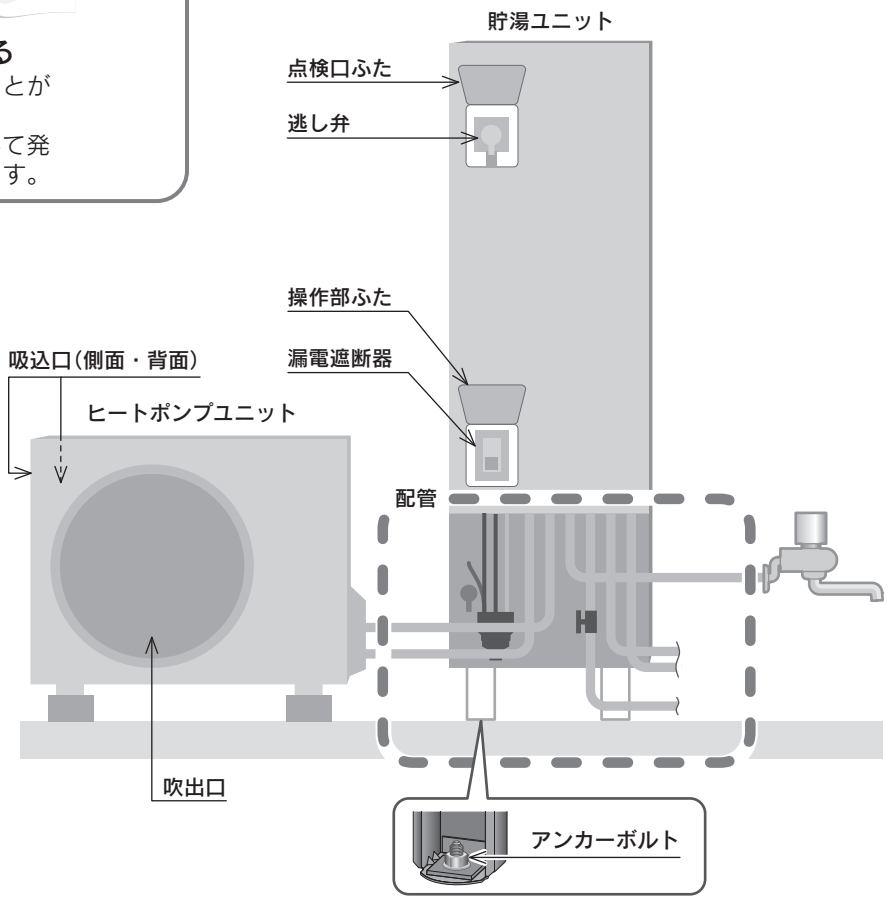
●1ケ月以上使用しないときは機器の水抜きを行う
長期間タンクにたまった水は、水質の変化により健康を害する原因になることがあります。
お買い求めの販売店に水抜きを依頼してください。

●機器や配管に無理な力を加えない
貯湯ユニットやヒートポンプユニットの上に乗ったり、配管をゆらしたりすると破損や転落事故の原因になることがあります。

●熱湯の排水禁止
タンクのお湯は冷めてから排水しないと、やけどの原因になることがあります。

●水洗いしない
漏電による火災や感電の原因になることがあります。

●子どもを機器の周囲で遊ばせない
思わぬ事故の原因になることがあります。



⚠注意

機器内のお湯(水)について

●機器や配管に長時間たまった水や朝一番のお湯は飲用したり調理に使用したりしない

水質の変化により健康を害する原因になることがあります。
雑用水として使用してください。

●飲用したり調理に使用したりするときは沸騰させてから使用する

沸騰させずに使用すると健康を害する原因になることがあります。
熱いお湯が出てくるまでの水(配管にたまっている水)は、雑用水として使用してください。
固形物・変色・濁り・異臭があった場合は、飲用しないですぐにお買い求めの販売店に点検を依頼してください。

据付後は次のことを確認する

●貯湯ユニットの脚がアンカーボルトで固定されていること

地震などにより貯湯ユニットが転倒してけがや事故の原因になることがあります。固定されていない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

●防水処理・排水処理済みの床面に設置されていること

水漏れによる被害のおそれがあります。
お買い求めの販売店にご確認・ご依頼ください。

●配管に凍結予防工事がされていること

配管が凍結して破損すると水漏れの原因になることがあります。
お買い求めの販売店にご確認・ご依頼ください。

お願い

入浴をするときの注意

●洗剤に注意する

イオウ・酸・アルカリを含んだ洗剤は、貯湯ユニットや配管の腐食などの原因になることがあります。使用しないでください。

●入浴剤について

入浴剤を使用する場合は、**必ず配管クリーン(自動)を「on」にして**使用してください。
リモコン取扱説明書参照

以下はご使用いただける入浴剤です。(推奨品)
・「**バブ**」
〔「バブ」は、花王(株)の登録商標です。〕
・「**バスクリン**」「**きき湯**」
〔「バスクリン」「きき湯」は、(株)バスクリンの登録商標です。〕
・「**バスロマン**」
〔「バスロマン」は、アース製薬(株)の登録商標です。〕

上記以外の場合、次の入浴剤は使用しないでください。
貯湯ユニットや配管の腐食などの原因になることがあります。
・推奨品以外の発泡する物
・温泉水、イオウ、酸、アルカリ、油分、塩分を含んだ物
・お湯が濁ったり、とろみがついたりする物
・バスバブル
・パウダーやミルク成分を配合している物
・生薬など(葉、茎など)固形物が溶けないで残る物

入浴剤の説明書をよく確認してください。
また、複数の入浴剤を同時に使用しないでください。

●浴そう内ではミカンやレモンなどを浮かべたり、石けんやボディーシャンプーを使用したりしない

次回使用時に泡が出るなどの故障の原因になることがあります。
ポプリなどを使用する場合は、袋などに入れて使用してください。

水漏れの確認

●機器・配管・おふろの循環口などから水漏れがないことを確認する

●昼間時間帯のお湯の使用について

おひさまエコキュートは昼間時間帯にお湯を沸かしますので、昼間時間帯にお湯を使用すると、お湯が足りなくなることがあります。

落雷のおそれがあるときの処置

●200V電源ブレーカを「切」にする

雷が発生したときは200V電源ブレーカを「**切**」にしてください。一時的な過電圧で電子部品を損傷する原因になることがあります。雷がやんだ後は「**入**」にしてください。

安全上の注意（必ずお守りください）

お願い

湯切れに注意

●シャワーを使うときや洗い物をするときは、お湯をこまめに止めて使用する

お湯を出したままにすると湯切れの原因にになることがあります。

使用する水について

●水道水を使用する

以下の場合は、保証期間内でも有料修理になります。

・水道水以外を給水した場合

・水質が原因の故障(※)

※ 析出物(炭酸カルシウムなど)によるつまり、腐食による水漏れなど

混合水栓について

●通水抵抗が少ない物、シャワーヘッドの圧力損失が少ない物を使用する

出湯量減少の原因になることがあります。

●水圧が低い地域では泡沫水栓・浄水器を使用しない

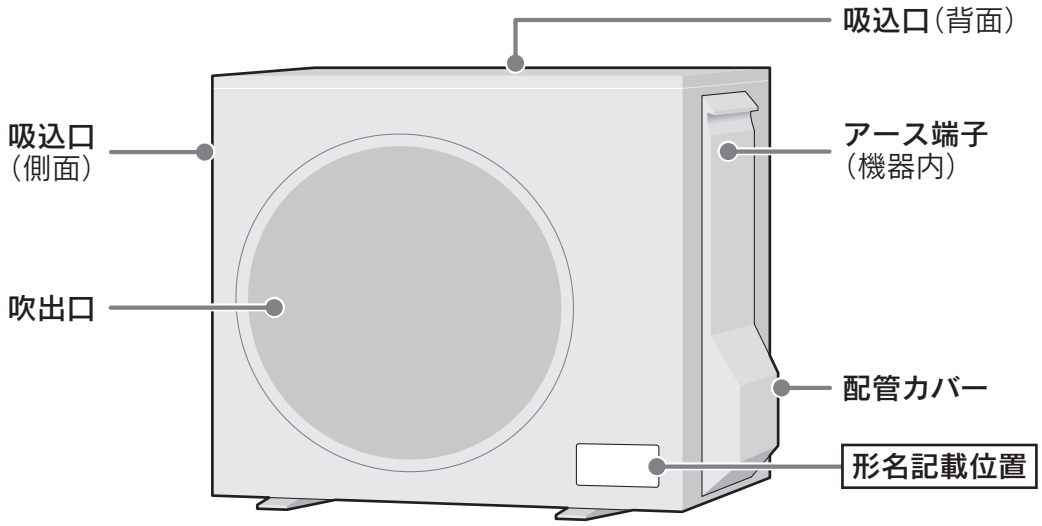
●やけど防止のため、サーモスタット付混合水栓の使用を推奨

2ハンドル混合水栓やシングルレバー混合水栓を使用しているときは、熱いお湯が出て、やけどの原因になることがあります。

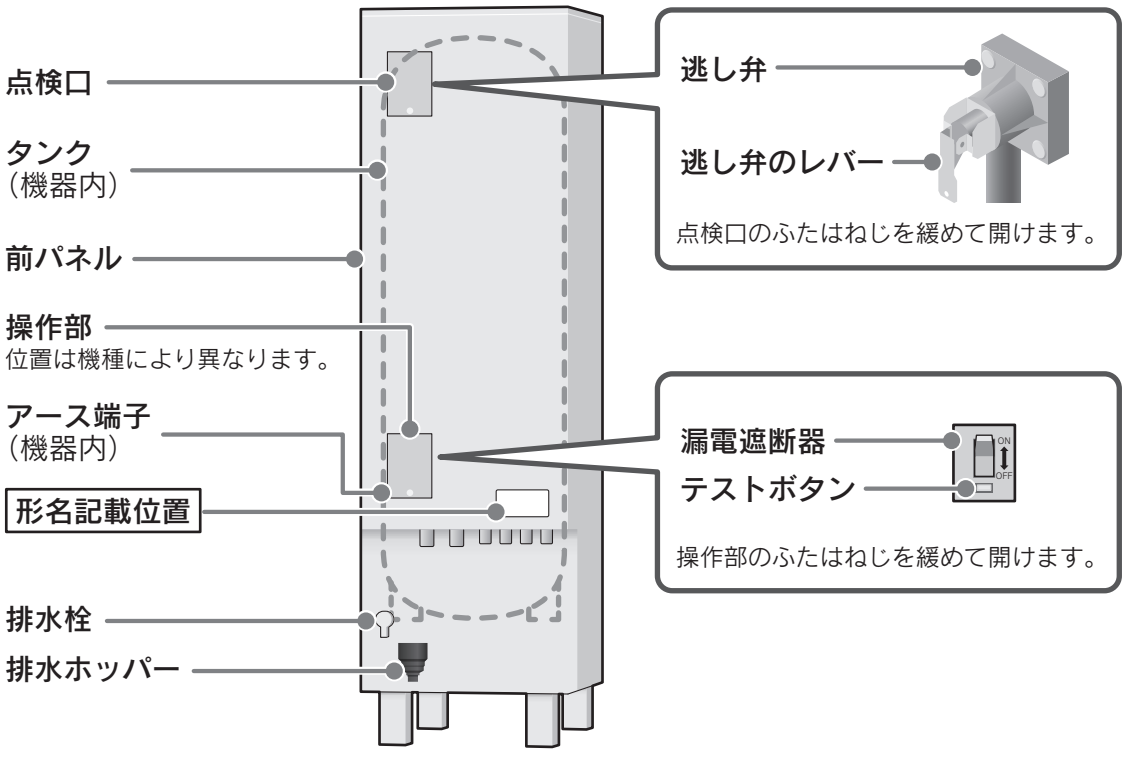
各部の名称

外観図 イラストはイメージです。

ヒートポンプユニット



貯湯ユニット

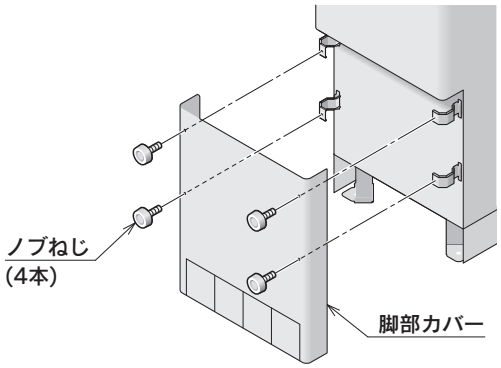


日常の点検・手入れのしかた

⚠注意

●手袋などの保護具を着用してください。
●部品の分解・調整は絶対にしないでください。
●異常がある場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。
●前パネルは開けないでください。

脚部カバーを取り付けている場合



ノブねじ(4本)をはずして脚部カバーを取りはずしてから点検・手入れを行ってください。
点検・手入れが終わったら元通りに取り付けてください。

毎日

水漏れの確認

機器・配管・おふろの循環口などから水漏れしていないことを確認してください。集合住宅での水漏れは階下に被害をおよぼします。
(沸き上げ中は排水ホッパーから膨張水が出ます。)

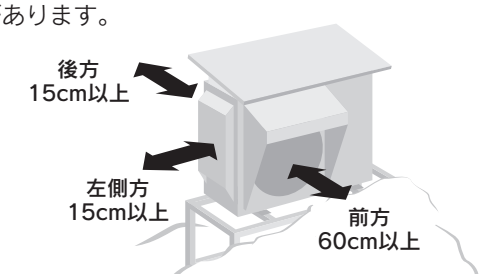
周囲の確認

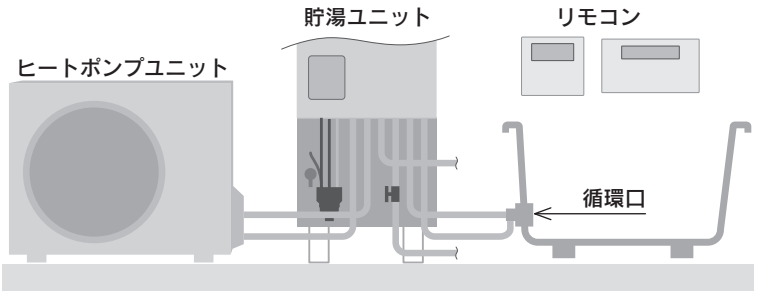
機器の周囲に灯油・ガス・ガソリン・シンナーなどの引火性危険物がないことを確認してください。

適時に

ヒートポンプユニットの除雪

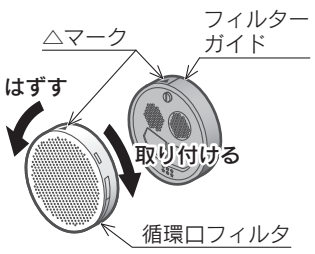
積雪時はヒートポンプユニットの除雪を行ってください。除雪しないと能力低下の原因になることがあります。





循環口フィルタの掃除

循環口フィルタを左に回し、手前に引いてはずしてください。
歯ブラシなどでフィルタの汚れを掃除してください。
掃除終了後は、フィルターガイドの△マークに循環口フィルタの△マークを合わせてはめ込み、右に止まるまで回して固定してください。
※循環口フィルタは必ず取り付けてください。



周囲の掃除

機器周囲のゴミや落ち葉を掃除してください。ヒートポンプユニットの吸込口がつまると能力低下の原因になることがあります。
また落ち葉などがあると、機器内に小動物が侵入して発火・発煙・故障の原因になります。

リモコン・貯湯ユニット・ヒートポンプユニットの掃除

水や化学ぞうきんなどは使わず、柔らかい布でからぶきしてください。ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・ガラスクリーナーなどは使用しないでください。印刷や塗装のはがれ、傷の原因になることがあります。

配管クリーン

ふろ配管内に残っている残り湯を洗い流します。
リモコン取扱説明書参照

1ケ月に1回以上

逃し弁の確認

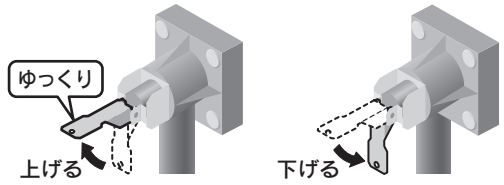
⚠警告

- ●逃し弁周辺の配管は熱くなりますので、手を触れないでください。
- ●逃し弁のレバーはゆっくり操作してください。逃し弁のレバーを急に上げると熱湯が勢いよく出ることがあるので、やけどの原因になります。
- ●排水時はホースや排水が熱くなることがありますので、手を触れないでください。

1 逃し弁のレバーをゆっくり上げる
排水ホッパーからお湯が出ることを確認します。

2 逃し弁のレバーを下げる
お湯が止まることを確認します。

3 逃し弁のレバー上げ下げを数回繰り返す
湯あかやゴミを流します。



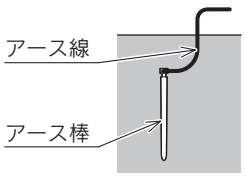
半年に1回以上

漏電遮断器の作動確認

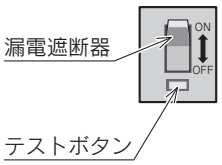
⚠警告

- ●漏電遮断器は濡れた手で触らないでください。感電の原因になります。

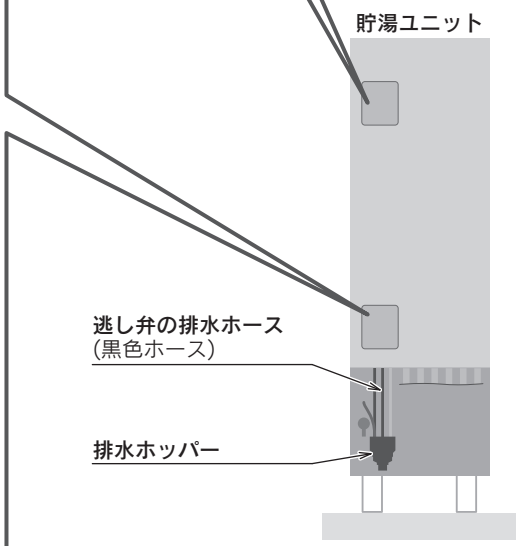
1 アースの確認をする
アース線が途中で切れていないこと、機器のアース端子に接続されていることを確認します。



2 漏電遮断器のテストボタンを押す
「ON」から「OFF」になると正常です。



3 漏電遮断器を「ON」にする



日常の点検・手入れのしかた

1年に1回以上

配管洗浄

配管洗浄剤を使ってふろ配管を掃除します。リモコン取扱説明書参照

タンクのお手入れ(水抜き)

⚠警告

- ●漏電遮断器は濡れた手で触らないでください。感電の原因になります。
- ●逃し弁周辺の配管は熱くなりますので、手を触れないでください。
- ●逃し弁のレバーはゆっくり操作してください。逃し弁のレバーを急に上げると熱湯が勢いよく出ることがあるので、やけどの原因になります。
- ●排水時はホースや排水が熱くなることがありますので、手を触れないでください。

1 漏電遮断器を「OFF」にする

2 給水元栓を閉める

3 逃し弁のレバーをゆっくり上げる

4 排水栓を「排水」にし、排水がきれいになったら「通常」に戻す

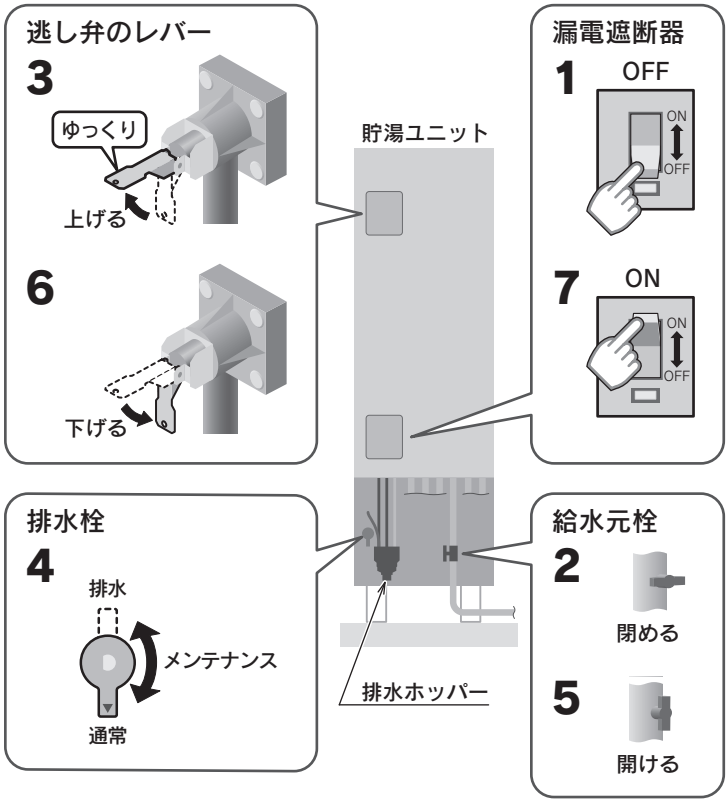
1～2分間排水してください。
排水ホッパーから水があふれないように開度を調整してください。

5 給水元栓を開ける

排水ホッパーから連続的にお湯(水)が出ることを確認します。

6 逃し弁のレバーを下げる

7 漏電遮断器を「ON」にする



水フィルタの掃除

⚠警告

- ●漏電遮断器は濡れた手で触らないでください。感電の原因になります。
- ●逃し弁周辺の配管は熱くなりますので、手を触れないでください。
- ●逃し弁のレバーはゆっくり操作してください。逃し弁のレバーを急に上げると熱湯が勢いよく出ることがあるので、やけどの原因になります。
- ●排水時はホースや排水が熱くなることがありますので、手を触れないでください。

水フィルタにゴミがたまるとお湯が出にくくなりますので、定期的に掃除をしてください。

1 漏電遮断器を「OFF」にする

2 給水元栓を閉める

3 逃し弁のレバーをゆっくり上げる

4 排水ホッパーから水が出なくなったら水フィルタをはずして掃除をする

水フィルタはコインなどを利用してはずしてください。
水フィルタをはずしたときに配管内に残っている水が出ますが、異常ではありません。
掃除は歯ブラシなどを使用してください。
フィルタを変形させたり、Oリングに傷をつけたりしないように注意してください。

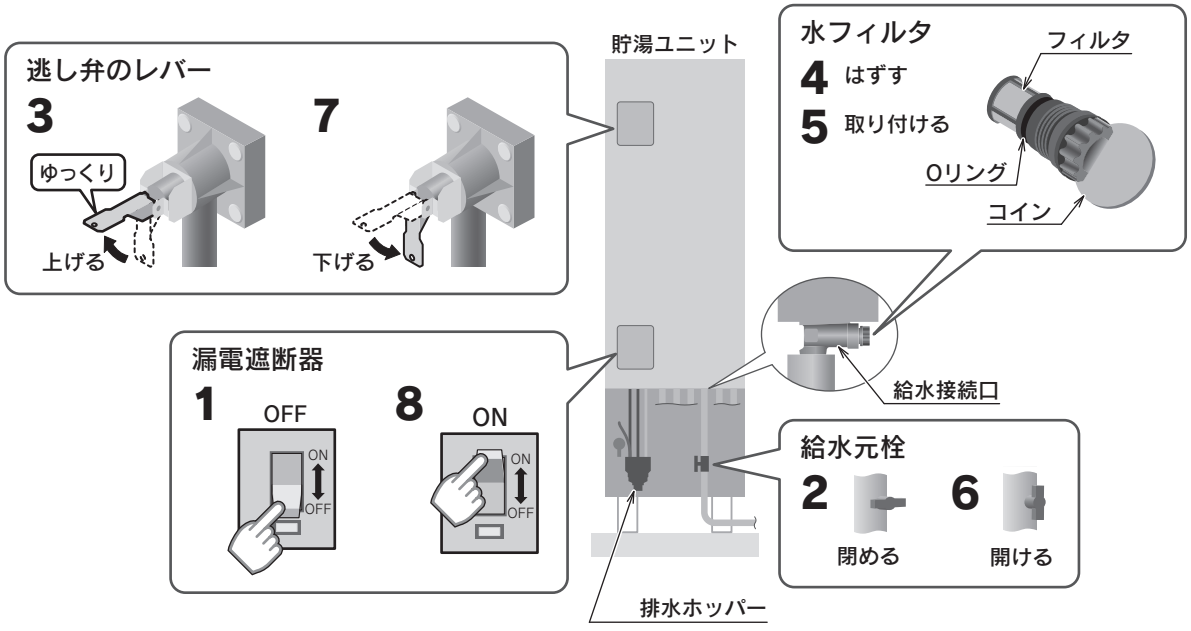
5 Oリングをきれいにふいて水フィルタを元通りに取り付ける

6 給水元栓を開ける

7 排水ホッパーから連続的にお湯(水)が出ることを確認したら逃し弁のレバーを下げる

水フィルタから水漏れがないことを確認します。

8 漏電遮断器を「ON」にする



日常の点検・手入れのしかた

大雪時の対応

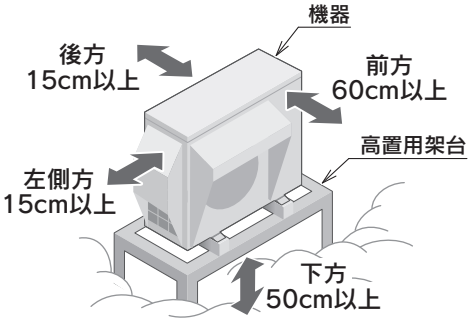
●大雪時は機器のファン(羽根)が雪などで動かなくなり、リモコンに「E7」を表示して、運転を停止することがあります。また、ファンが雪や氷にあたると異音が発生することがあります。この場合は以下の処置を行ってください。

1 台所リモコンの沸き増し停止スイッチを押す

2 機器の周囲を除雪する

⚠注意	機器に付着した雪や氷をスコップなどの除雪用具で無理に取らないでください。 けがや機器(アルミフィンなど)破損の原因になることがあります。

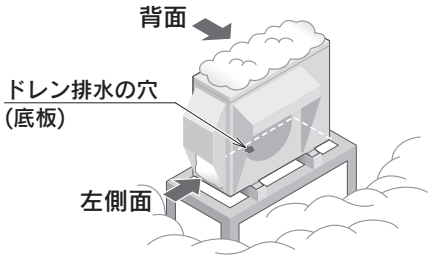
図のスペースが確保できるように除雪してください。下方スペースは高置用架台に設置している場合です。
高置用架台に設置していない場合は、機器の下の雪や氷を取り除いてください。

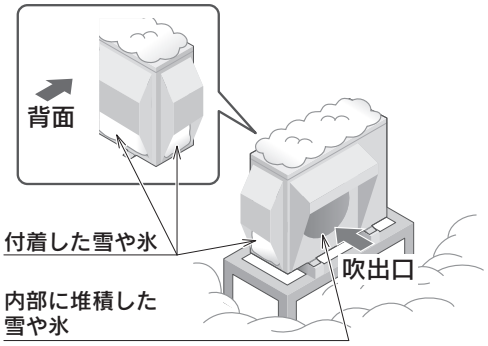


3 機器と内部のファン周囲の雪や氷を溶かす

⚠注意	高温のお湯は使用しないでください。 やけどの原因になることがあります。

1.機器の底板中央部のドレン排水の穴が雪や氷でふさがれていないことを確認してください。
ふさがれている場合はお湯を少しずつかけて、ドレン排水の穴からお湯が流れることを確認してください。
2.機器の背面や左側面に付着した雪や氷はお湯を少しずつかけて溶かしてください。
3.機器内部に堆積した雪や氷は、吹出口からバケツなどで、お湯を少しずつかけて溶かしてください。
4.再度、ドレン排水の穴からお湯が流れることを確認してください。





4 台所リモコンの沸き増しスイッチを押す

ファンがスムーズに回ることを確認してください。
正常に回っている場合、沸き増しが必要ないときは沸き増しスイッチを押して沸き増しを解除してください。
沸き増しが必要なときはそのまま使用してください。
異常がある場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

定期点検

定期点検は有料です

●長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要になります。
機器を安心して長くご使用いただくために、1年に1回程度は定期点検を受けることをおすすめします。
●給水用具(逆流防止装置)に関しては(公社)日本水道協会発行の「**給水用具の維持管理指針**」に示されている定期点検の実施をおすすめします。時期は4～6年に1回程度です。
●定期点検はお買い求めの販売店にご連絡ください。

1ケ月以上使用しないとき

●お買い求めの販売店に水抜きを依頼してください。

水抜き後の再使用方法

●水抜き後に再使用するときは、タンクを満水にして「**エア抜き試運転**」を行ってください。
●脚部カバーを取り付けている場合は、取りはずしてから行ってください。10ページ

⚠警告

●漏電遮断器は濡れた手で触らないでください。感電の原因になります。

タンクを満水にする

1 漏電遮断器が「OFF」になっていることを確認する

2 逃し弁のレバーを上げる

3 排水栓が「通常」になっていることを確認する

4 給水元栓を開ける

5 排水ホッパーから連続的に水が出ることを確認する
水が出るまで15～40分かかります。
排水ホッパーから連続的に水が出れば、タンクは満水です。

6 逃し弁のレバーを下げる

7 混合水栓の給湯栓を開けて連続的に水が出ることを確認する

8 給湯栓を閉める

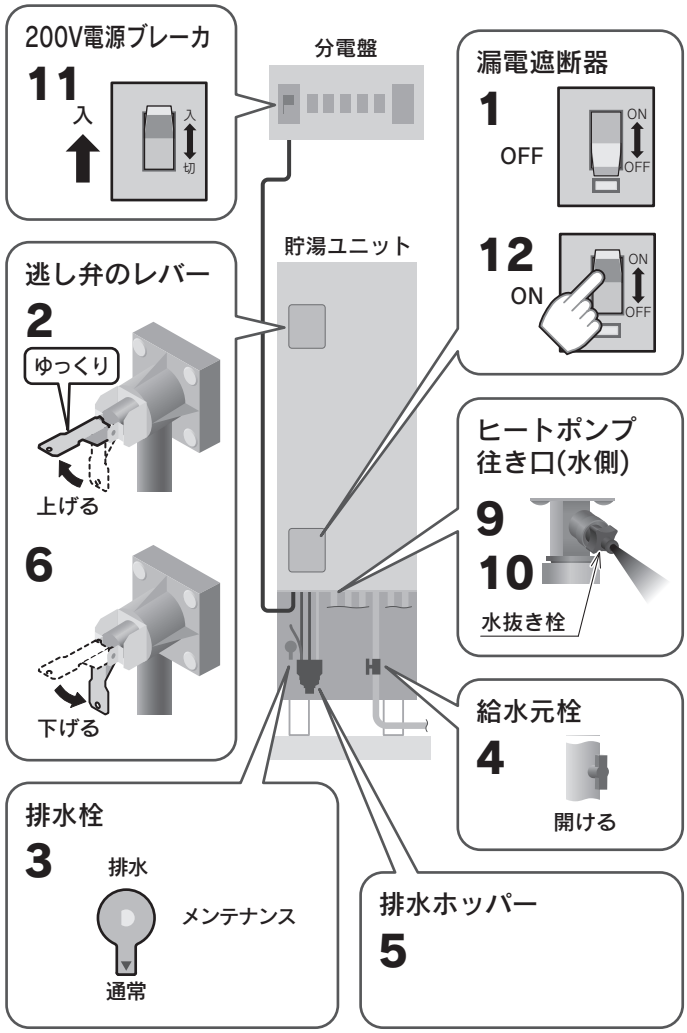
9 ヒートポンプ往き口(水側)の水抜き栓を緩めて、連続的に水が出ることを確認する
(10～20秒間)

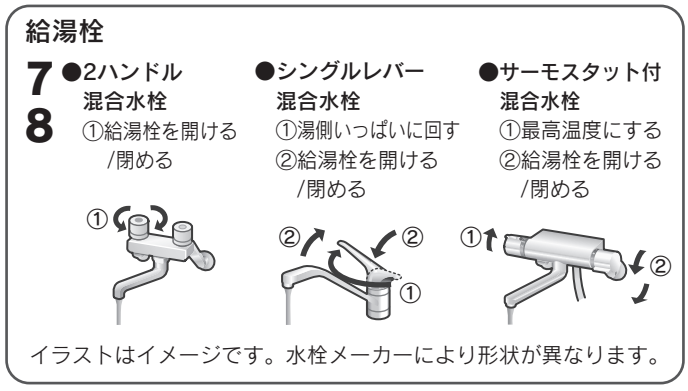
10 水抜き栓を閉める

11 200V電源ブレーカを「入」にする

12 漏電遮断器を「ON」にする
現在時刻が合っていない場合は、設定し直してください。リモコン取扱説明書参照

13 エア抜き試運転を行う
配管内とタンク内の空気を抜くため、エア抜き試運転を行ってください。16ページ





イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。

お知らせ

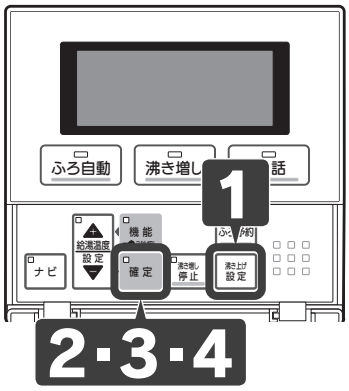
●脚部カバーを取り付けている場合は、元通りに取り付けてください。

水抜き後の再使用方法

エア抜き試運転

水抜き後に再使用するときは、タンクを満水(15ページ)にして「**エア抜き試運転**」を行ってください。

●「**エア抜き試運転**」は台所リモコンで行います。



1 沸き上げ設定 を約10秒間押す

エア抜き試運転

2 確定 を押す

●「**エア抜き運転中**」と「**残り時間:○分**」を交互に表示します。

エア抜き運転中

交互表示

残り時間: 5分

●表示した残り時間が経過すると「**エア抜き運転完了**」を表示します。

エア抜き運転完了

3 確定 を押す

●給湯栓を開けタンク内の空気を抜いてください。
(空気混じりに出ていた水が連続的に出てくるようになったら給湯栓を閉めてください。)

[空気抜き]

交互表示

給湯栓(湯側)
あける→しめる



4 確定 を押す

●通常の表示に戻ります。

中止するときは 沸き上げ設定 を約10秒間押す

お知らせ

●エア抜き試運転中は浴室リモコンに「エア」と表示します。
●タンクが満水になっていない状態でエア抜き試運転を行うと、「**試運転異常**」を表示し、エラーコードを表示して運転を停止します。
確定スイッチを約10秒間押すと警報が解除され通常表示になります。
タンクが満水になっていることを確認して、再度エア抜き試運転を行ってください。

冬期の凍結による破損防止について

●冬期には急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがありますので、凍結予防の処置を行ってください。
（凍結により機器が破損した場合の修理は、保証期間内でも有料になります。）
●ふろ配管も凍結を予防するために、必ず保温してください。
●凍結のおそれがある地域では市販の電気ヒータを配管やバルブ類に取り付けて、充分な保温を行ってください。
保温が充分でないと凍結予防処置を行っても効果がありません。

凍結予防

凍結予防には「**凍結予防装置と市販の電気ヒータによる方法**」・「**じゃ口から水を流す方法**」・「**機器内のお湯（水）を抜く方法**」があります。

凍結予防装置と市販の電気ヒータによる方法

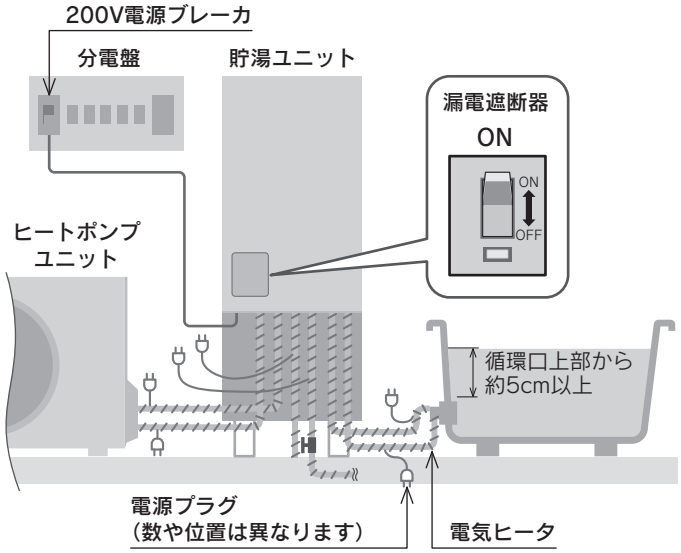
外気温が下がると自動的に凍結予防ヒータに通電し、機器内の給水経路を保温します。
また、おふろの水を循環させてふろ配管の凍結を予防します。
市販の電気ヒータを配管やバルブ類に取り付けている場合は、機器外の配管やバルブ類などを保温します。

1 200V電源ブレーカが「入」になっていることを確認する

2 漏電遮断器が「ON」になっていることを確認する

3 おふろの水位が循環口上部から約5cm以上あることを確認する

4 電気ヒータの電源プラグを差し込む
（市販の電気ヒータを取り付けている場合）



お知らせ

●凍結予防装置は200V電源ブレーカを「**切**」にしたり、漏電遮断器を「**OFF**」にしたりすると作動しません。
●おふろに水が入っていない場合は、機器外のふろ配管は保温されません。
●市販の電気ヒータを取り付けていない場合は、配管やバルブ類などの凍結予防はできませんので充分に保温してください。

冬期の凍結による破損防止について

じゃ口から水を流す方法

冷え込みが厳しいときや風が強いときは、「**凍結予防装置と市販の電気ヒータによる方法**」に加えてじゃ口から少量の水を流して給水・給湯配管やバルブなどの凍結を予防します。

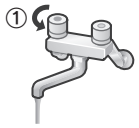
1 リモコンの▼を押して給湯温度を「Lo(給水温度)」に設定する

2 給湯栓を開ける

じゃ口から毎分約400cc(約4mm)の水を流したままにします。



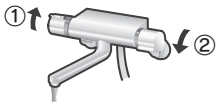
●2ハンドル混合水栓
①給湯栓を開ける



●シングルレバー混合水栓
①湯側いっぱいに回す
②給湯栓を開ける



●サーモスタット付混合水栓
①最高温度にする
②給湯栓を開ける



イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。

3 30分後に水の量を確認する

流量が不安定なことがあるため確認を行います。

お知らせ

●給湯温度が32℃以外の状態で給湯温度を下げるスイッチ(▼)を長押ししても「**Lo(給水温度)**」に設定できません。
給湯温度を32℃に設定した状態で操作してください。
●水を流す混合水栓は屋内の1箇所で問題ありません。おふろの混合水栓から浴そう内に流せば、たまった水を洗濯などの雑用水として使用できますので無駄になりません。浴そうにじゃ口が届かない場合は、じゃ口で流量を確認した後、シャワーに切り替えて浴そう内に流してください。

機器内のお湯(水)を抜く方法〔長期間使用しない場合〕

長期間使用しないときや漏電遮断器を「OFF」にするときは、機器内のお湯(水)を抜いてください。
水抜きはお買い求めの販売店に依頼してください。

お知らせ

●再使用するときは「**水抜き後の再使用方法**」を参照してください。15・16ページ
●再使用するときまでおふろに水を入れないでください。

凍結したとき

給湯栓を開けてもお湯も水も出ません。自然解凍するまでお待ちください。
解けて水が出るまでは、以下の手順に従ってください。

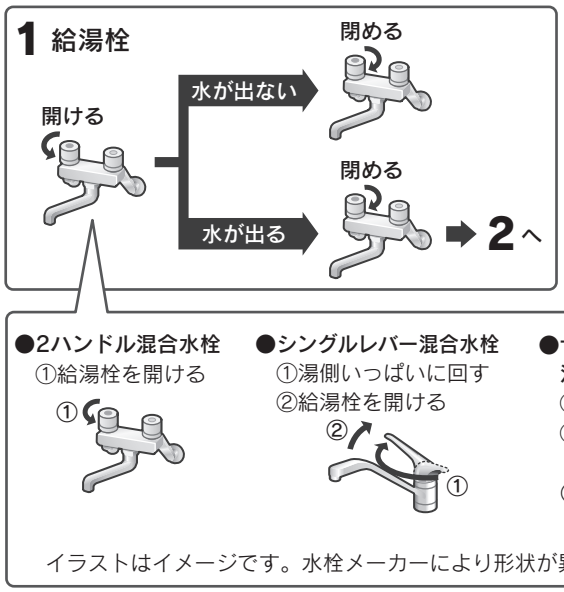
1 ときどき給湯栓を開ける

〈じゃ口から水が出ない場合〉

まだ凍結しています。**給湯栓を閉め**、時間をおいて再度給湯栓を開けてください。

〈じゃ口から水が出た場合〉

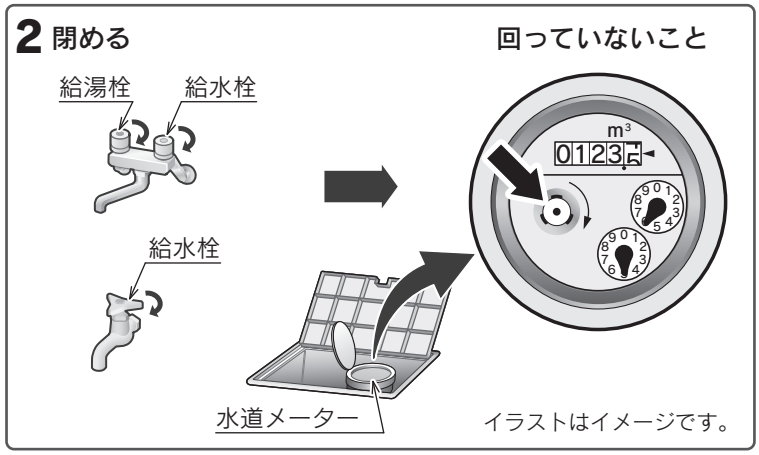
給湯栓を閉めて 2 を行ってください。



イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。

2 すべての給水栓と給湯栓を閉め、水道メーターが回っていないことを確認する

給水・給湯配管が凍結すると、機器や配管が破損することがあります。
水道メーターが回っている場合は水漏れの可能性がありますので、お買い求めの販売店にご連絡ください。



イラストはイメージです。

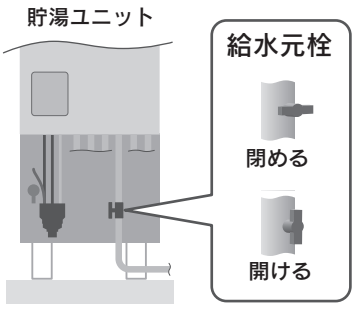
断水したとき

●断水したときは給水元栓を閉めてください。
●復旧したときははじめに給水栓を開けて、汚れた水が出なくなってから給水元栓を開けて使用してください。
●脚部カバーを取り付けている場合は、取りはずしてから行ってください。10ページ

断水時

1 貯湯ユニットの給水元栓を閉める

●給水元栓を閉めないと、断水復旧後にタンクのお湯(水)が濁ったり、お湯(水)の出る勢いが弱くなったりすることがあります。
●断水のときはお湯も水も出ません。
すべての混合水栓を開けないでください。

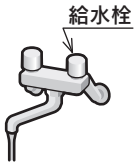


復旧後

1 給水栓を開けてじゃ口から汚れた水を出す

2 じゃ口の水がきれいになったら給水栓を閉める

3 貯湯ユニットの給水元栓を開ける



お知らせ

●脚部カバーを取り付けている場合は、元通りに取り付けてください。

停電したとき

●現在時刻が合っていない場合は設定し直してください。
●停電中は熱いお湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。

地震などの被害にあったとき

●機器や配管の破損、水漏れなどを確認して、異常があればお買い求めの販売店にご連絡ください。

浸水したとき

●お買い求めの販売店に点検を依頼してください。
使用はしないでください。

断水したときや非常時にお湯を取り出す

●断水したときや非常時は、タンクのお湯(水)を生活用水として利用できます。
●飲用や調理には使用しないでください。やむをえず使用する場合は、必ず沸騰させてください。
●脚部カバーを取り付けている場合は、取りはずしてから行ってください。10ページ

取水の方法

⚠警告

●漏電遮断器は濡れた手で触らないでください。感電の原因になります。
●逃し弁周辺の配管は熱くなりますので、手を触れないでください。
●逃し弁のレバーはゆっくり操作してください。逃し弁のレバーを急に上げると熱湯が勢いよく出ることがあるので、やけどの原因になります。また、熱に強い容器でお湯(水)を受けてください。

1 漏電遮断器を「OFF」にする

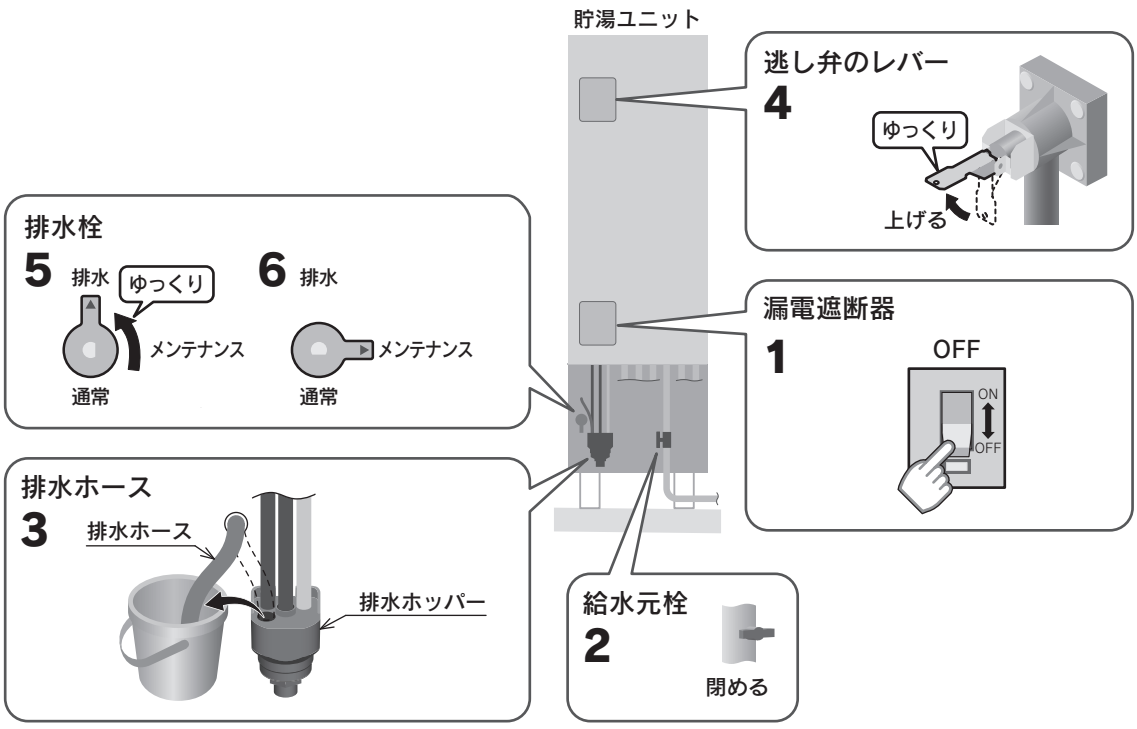
2 給水元栓を閉める

3 排水ホースの先端を排水ホッパーから引き抜きバケツなどで受ける

4 逃し弁のレバーをゆっくり上げる

5 排水栓をゆっくり「排水」にする
排水ホースからお湯(水)が出ます。
熱いお湯によるやけどに注意してください。
また出はじめのお湯(水)は湯あかやゴミが出ることがあります。

6 取水を中断するときは、排水栓を「メンテナンス」に戻してお湯を止める



お湯を取り出し終えたら…

1 排水栓を「通常」に戻す

2 逃し弁のレバーを下げる

3 排水ホースを排水ホッパーに戻す

お知らせ

●再度使用するときは「**水抜き後の再使用方法**」を参照してください。15・16ページ
●脚部カバーを取り付けている場合は、元通りに取り付けてください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に

次のような場合は故障ではありません。修理を依頼する前にもう一度確認してください。

	こんなときは	確認してください
シャワーやじゃ口	お湯も水も出ない	●断水していませんか。断水のときは貯湯ユニットに給水されないためお湯が出ません。断水が復旧してから処置を行ってください。20ページ ●給水元栓を閉めていませんか。開けてください。 ●配管が凍結していませんか。凍結が解消するまでお待ちください。
	お湯の出が悪い	●ガス給湯器や直圧式の石油給湯器に比べ、若干お湯の出が弱くなります。水道の圧力を下げて一定の水圧に調整しているためです。 ●リモコンの給湯温度を60℃に設定し、水と混ぜて使用してください。 混合水栓のタイプによっては給湯栓を全開にしてもお湯の出が悪いことがあります。 ●ふろ自動中など、給湯以外でお湯を使用しているときはじゃ口やシャワーから出るお湯の量が少なくなることがあります。 ●貯湯ユニットの給水接続口の水フィルタにゴミなどがつまっていませんか。 掃除してください。13ページ ●サーモスタット付混合水栓のシャワーの勢いが弱いときは、リモコンの給湯温度を高くするとシャワーの勢いが強くなります。
	お湯がぬるい （設定した温度にならない） お湯が足りない	●リモコンの給湯温度の表示はめやすです。 ・配管の放熱により、設定温度よりも低くなることがあります。 ・タンクのお湯の温度が低いときは設定温度にならないことがあります。 ●配管内に残っている水が出てくることがあります。お湯が出るまでしばらくお待ちください。 ●お湯を使いすぎていませんか。 シャワーを使うときや洗い物をするときは、お湯をこまめに止めてください。 ●逃し弁のゴミかみによりお湯（水）が漏れていませんか。 「**逃し弁の確認**」を行ってください。11ページ ●給湯温度や沸き上げ設定は適切ですか。 給湯温度や沸き上げ設定を見直してください。リモコン取扱説明書参照 ●残り湯で追いだきを行っていませんか。 残り湯で追いだきを行う場合はタンクのお湯の温度が下がり、湯切れすることがあります。 ●頻繁に(長時間)追いだきを行ったり、ふろ保温時間が長かったりしませんか。タンクのお湯の温度が下がり、湯切れすることがあります。 ●サーモスタット付混合水栓を使用してぬるいときは、リモコンの設定温度を確認してください。お湯の温度を安定させるためリモコンの給湯温度を混合水栓の設定温度より約10℃以上高めにして使用してください。 ●沸き上げ中にお湯を使用していませんか。 ●出湯配管が水漏れしていませんか。 ●貯湯ユニットの排水栓が「**排水**」になっていませんか。 ●1箇所の混合水栓のみお湯の温度がおかしいときは、混合水栓の故障の可能性があります。
	お湯の温度が上下したり 水になったりする	●次の場合が考えられます。 ・シャワーやじゃ口でお湯を使用中に、ふろ自動・高温たし湯・追いだき・たし湯・たし水・ecoとく(※)・配管クリーン・配管洗浄を行ったとき。 ・お湯を出したり止めたりを繰り返したとき。 ・2箇所以上でお湯を使用したとき。 ・シャワーを確実に止めずに、ふたたびシャワーを出したとき。 ・沸き上げ中にお湯を使用したとき。 ・水道の圧力が変動していたとき。 ・少ししかお湯を出していないとき。（水になります。）
	お湯から油が出る お湯がくさい	●初めて使用するときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出ることがありますが、しばらくすると消えます。
	給湯温度が変更できない	●操作しているリモコンが優先になっていないためです。「**優先**」を切り替えてください。リモコン取扱説明書参照
	お湯が白く見える	●水に溶けていた空気が機器内で加熱され、温度や水圧などの条件が重なったときに、細かい気泡となって出てくる自然現象です。ビールの泡のようなもので、体には無害です。
	汚れたお湯が出る	●断水や近くで水道工事はありませんでしたか。 ●タンクのお手入れを行っていますか。12ページ

	こんなときは	確認してください
おふろ	浴そうのお湯(水)が青く見える	●光の波長の関係で浴そうやお湯(水)が青く見えることがあります。
	浴そうや洗面用具などが青くなる	●配管(銅配管)から溶け出したわずかな銅イオンと、石けんなどに含まれる脂肪酸が反応して浴そうや洗面用具などが青くなることがありますが、異常ではありません。 (使いはじめに発生しやすく、時間の経過とともに発生しにくくなります。汚れを放置すると取れにくくなるので、こまめに掃除してください。汚れが取れにくい場合は、中性洗剤を使用するか、つけ置き洗いをすると効果的です。その後、水で充分に洗い流してください。)
	おふろがぬるい(※)	●ecoとくを行っていませんか。ecoとくオートの設定がされていませんか。 「**ecoとくオート設定**」を「**OFF**」にしてください。**リモコン取扱説明書参照**
	循環口から泡が出る	●ふろ配管内に残っていた空気や、水中に溶けていた空気が気泡となり出てくるためです。
	循環口から水が出る	●ふろ保温・高温たし湯・追いだき・たし湯の開始後しばらくは、配管内に残っている水が出てくることがあります。 ●外気温が低いときは凍結予防のため循環ポンプが作動して、配管内に残っている水が出てくることがあります。 ●「**配管クリーン(自動)**」を「**on**」に設定している場合は、おふろの排水栓を抜き、残り湯が循環口付近になると自動的に水を流します。**リモコン取扱説明書参照**
	循環口から音がする	●外気温が低いときは、凍結予防のため循環ポンプが作動して音がすることがあります。
	お湯はり中やたし湯中に循環口からお湯が出たり止まったりする	●お湯の温度や量をチェックしながらお湯はりをしています。 故障ではありません。
	お湯はり終了時刻が予約した時刻にならない	●現在時刻が合っていることを確認してください。 ●残り湯の状態や水圧などの条件により前後します。
	ふろ温度や水位が設定通りにならない	●ふろ保温を中止したとき、たし湯やたし水をしたときは、おふろの温度が低くなったり、お湯の量が多くなったりすることがあります。 ●お湯はり中におふろの温度を変更すると、変更した温度より高くなることがあります。 ●お湯はり終了前に入浴したり、循環口フィルタがゴミづまりしたり、確実に取り付けられていなかったりすると、おふろの温度やお湯の量が設定通りにならないことがあります。 ●設定した水位にならないときは「**ふろ試運転**」を行ってください。**26ページ**
	追いだきをしても熱くならない	●もっと熱くしたいときは、もう一度押してください。 ●タンクに使えるお湯が充分あっても、タンクのお湯の温度が低いときは、追いだきに時間がかかります。「**沸き増し**」をしてください。**リモコン取扱説明書参照** ●循環口フィルタにゴミなどがつまっていませんか。掃除してください。**10ページ**
	追いだきやふろ保温に時間がかかる	●タンクのお湯の温度が低いときは追いだきやふろ保温に時間がかかります。 「**沸き増し**」をしてください。**リモコン取扱説明書参照**
	追いだきができない	●タンクのお湯の温度が低いときは追いだきができないことがあります。 ●おふろのお湯が循環口上部から約5cm以上ないと追いだきはできません。 ●循環口フィルタにゴミなどがつまっていませんか。掃除してください。**10ページ** ●断水しているときは追いだきできません。
	ふろ保温中に自動たし湯しない	●お湯が減ってもすぐに自動たし湯しないことがあります。 ●「**ふろ保温時間**」を「**0.0h**」に設定していませんか。**リモコン取扱説明書参照** 「**0.0h**」に設定していると自動たし湯は行いません。 ●「**自動たし湯**」を「**oFF**」に設定していませんか。**リモコン取扱説明書参照**
	高温たし湯できない	●おふろのお湯が循環口上部から約5cm以上ないと高温たし湯できません。
	高温たし湯をしても熱いお湯が出ない	●タンクのお湯の温度が低いときは、高温のお湯が出ません。
	ふろ自動を始めると濁ったお湯が出る	●入浴剤を使用した後は、配管クリーンをしないと配管内の残り湯が混入し、濁ったお湯が出ることがあります。特に濁り系の入浴剤を使用した後は目立ちます。 ●1年に1回以上は「**配管洗浄**」を行ってください。**リモコン取扱説明書参照**

※ecoとくフルオートの場合**2ページ**

故障かな？と思ったら

	こんなときは	確認してください
おふろ	おふろの残り湯を排水しても配管クリーンをしない	●「**配管クリーン(自動)**」を「oFF」に設定していませんか。リモコン取扱説明書参照 ●以下の場合は「**配管クリーン(自動)**」を「on」に設定していても作動しません。 ・おふろの排水栓を抜く前に、残り湯が循環口上部から約10cm以上ないとき。 ・ふろ自動が終了する前に、残り湯を排水したとき。
	配管洗浄をしない	●おふろの残り湯が循環口上部から約5cm以上ないときは、すすぎ(配管内にきれいな水を流す)のみを行います。
	ecoとくができない(※)	●タンクのお湯の温度がおふろのお湯の温度より高いときは、熱回収できないのでecoとくはすぐに終了します。 ●おふろにお湯がないときや、あっても温度が低いときは、ecoとくはすぐに終了します。 ●おふろのお湯が循環口上部から約5cm以上ないとecoとくはできません。
	ecoとくが短時間で終了する(※)	●タンクのお湯の温度が高いときは、ecoとく開始後、短時間で終了する場合があります。
ナビ	使用可能湯量があるのにふろ自動や追いだきができない	●タンクに使えるお湯が充分あっても、タンクのお湯の温度が低いときは、ふろ自動や追いだきができないことがあります。
	使用可能湯量があるのに熱いお湯が出ない 高温たし湯で熱いお湯が出ない	●タンクに使えるお湯が充分あっても、タンクのお湯の温度が低いときは、高温のお湯が出ません。
貯湯ユニット・ヒートポンプユニット	沸き上げ設定が「**おまかせ省エネ**」で湯切れした	●「**おまかせ省エネ**」では過去7日間のお湯の使用量から昼間に沸き上げる湯量を決定します。来客で多量のお湯を使用するなど、使用量が不規則なときは湯切れすることがあります。「**沸き増し**」を行うか、湯量モード設定で「**多め**」に変更してください。リモコン取扱説明書参照
	沸き上げが停止した	●電圧が急に大きく変動した場合は保護のために停止することがあります。約3分後に自動的に再開します。
	沸き増し停止中や沸き上げ禁止時間中に沸き上げをする	●外気温が低いときは、凍結予防のためヒートポンプユニットの沸き上げをすることがあります。
	昼間時間帯になっても沸き上げをはじめない	●水温が高い場合や残湯量が多い場合は、すぐに沸き上げをしないことがあります。
	昼間時間帯の終了時間よりも早く沸き上がる	●使用量が少ないときは、昼間時間帯の終了時間よりも早く沸き上がることがあります。
	貯湯ユニットの排水口・排水配管から水が漏れる 排水ホッパーからお湯(水)が出る	●沸き上げ中はタンクの水が膨張し、排水ホッパーから水が出ます。異常ではありません。 ●沸き上げ中以外のときは、逃し弁のレバーを数回上下に動かした後、レバーを下げて水が止まることを確認してください。漏れたままにしておくと、タンクのお湯の温度低下や湯量不足により水道代、電気代が高くなることがあります。 ●逃し弁のゴミかみによりお湯(水)が漏れることがあります。「**逃し弁の確認**」を行ってください。11ページ
	貯湯ユニットから音がする	●設置後や部品交換後、エア抜きのために熱交循環ポンプが自動的に約10分間作動することがあります。異常ではありません。 ●外気温が低いときは凍結予防のため循環ポンプやヒートポンプユニットを動かしお湯を循環させます。異常ではありません。
	ヒートポンプユニットから水や湯気が出る	●ヒートポンプユニットについた霜を取り除くと、水や湯気となり出てきます。
	ヒートポンプユニット底面から水が漏れている	●外気温や湿度によって、底面に結露することがあります。
	ヒートポンプユニットが霜で白くなる	●冬期は運転中に霜がつくことがあります。
	ヒートポンプユニットの運転音が大きい	●冬期など給水温度が下がると能力を上げて運転するため運転音が大きくなることがあります。
	お湯がなくなった お湯がなくなりそう	●「**沸き増し**」をしてください。リモコン取扱説明書参照

※ecoとくフルオートの場合2ページ

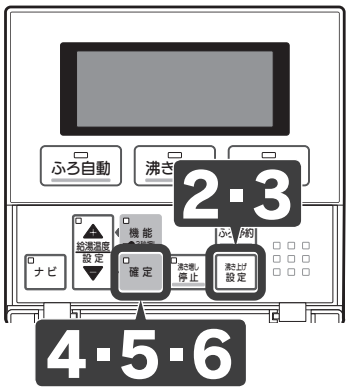
	こんなときは	確認してください
貯湯ユニット・ヒートポンプユニット	昼間時間帯が終わってもタンクのお湯がいっぱいにならない（残湯量表示がすべて点灯しない）	●沸き上げ設定で「**おまかせ省エネ**」「**おまかせたっぷり**」に設定している場合は、お湯をあまり使わない日が続くと、タンクいっぱいまで沸かさずにお湯を節約します。「**ナビ**」の湯量モニタを確認してください。**リモコン取扱説明書参照** ●冬期に外気温が低く、ヒートポンプユニットの能力が低下するときは、昼間時間帯にタンクいっぱいに沸き上がらないことがあります。 ●ヒートポンプユニットが雪で埋もれている場合は、能力が低下してタンクいっぱいに沸き上がらないことがあります。除雪を行ってください。 ●昼間沸き上げ中にお湯を多く使うと、タンクいっぱいに沸き上がらないことがあります。 ●沸き上げ中に長時間の停電が起こると、タンクいっぱいに沸き上がらないことがあります。
	お湯の使用量が少ないのに湯切れする	●ふだんお湯の使用量が少なく、数日おきにお湯はりするご家庭では、お湯はりする日に湯切れすることがあります。 早めに「**沸き増し**」を行うか、湯量モード設定で「**多め**」に変更してください。**リモコン取扱説明書参照**
	沸き上げ設定が「**おまかせ省エネ**」「**おまかせたっぷり**」でお湯の使用量が少ないのに全量沸き上げる	●「**おまかせ省エネ**」「**おまかせたっぷり**」では、過去7日間のお湯の使用量から昼間に沸き上げる湯量を決定します。 機器の設置後すぐなどお湯の使用量を初期学習している期間（約1週間）は全量を沸き上げます。
リモコン	リモコンに何も表示しない	●停電していませんか。 ●屋内の200V電源ブレーカが「**入**」になっていますか。
	リモコンの表示画面がいつのまにか消えている 表示画面のバックライトが暗い、または消灯する	●「**表示画面省エネモード**」の設定を確認してください。**リモコン取扱説明書参照**
	リモコン表面が熱く感じる	●使用中は表示画面が点灯しますので、熱く感じることがあります。
	表示画面のバックライトが暗くならない、または消灯しない	●「**表示画面省エネモード**」の設定を確認してください。**リモコン取扱説明書参照** ●給湯温度が55℃以上の場合、またはエラーコードを表示している場合、バックライトは消灯しません。
	スイッチ操作ができなくなった	●誤操作防止の「**チャイルドロック**」がかかっていませんか。 「**チャイルドロック**」を解除してください。**リモコン取扱説明書参照**
	音声案内をしない、または小さくなった	●「**音声ガイド音量**」の設定を確認してください。**リモコン取扱説明書参照** ●スピーカーに水がたまると音声が小さくなることがあります。水をふきとってください。
	操作音がしない、または小さくなった	●「**操作音量**」の設定を確認してください。**リモコン取扱説明書参照**
	操作していないのに音が出る	●他のリモコンで給湯温度を変更したときなど、操作していないリモコンからも音声やブザーでお知らせすることがあります。
	表示画面の色が変化する	●表示画面を正面以外から見ると表示色が変化して見えることがあります。 また、表示内容などにより明るさにムラが生じることがあります。
	表示画面の切替わりが遅い	●気温が下がると表示の切替わりが遅くなることがあります。
	時計表示が「**ー:ー**」で点滅している	●「**現在時刻**」を設定してください。**リモコン取扱説明書参照** 「**現在時刻**」を設定しないと操作ができません。
	通話ができない	●音声ガイドが流れているときは、通話できません。
	通話をすると「**キーン**」という大きな音がする（ハウリングする）	●浴室のドアを開けたまま通話するとハウリングが発生することがあります。 また、台所リモコンと浴室リモコンの設置場所が近い場合もハウリングを起こすことがあります。そのような場合は「**通話音量**」を下げて使用してください。**リモコン取扱説明書参照**
	通話が途切れて会話ができない	●シャワー使用中やリモコンの周囲が騒々しいときは「**話す**」側と「**聞く**」側の自動切替えがうまくできないことがあります。この場合は通話スイッチを押しながら話してください。 ●相手が話をしている途中に話しかけると自動切替えができず、お互いの話が途切れて聞き取れなくなります。相手が話し終わったらリモコンに向かって話してください。**リモコン取扱説明書参照** ●マイクに水滴がつくと音が伝わらないことがあります。
	通話中に雑音が混ざる、または一瞬途切れる	●故障ではありません。機器の設置状況や使用環境などによって起こることがあります。 ●リモコンから20cm以内に物を置くと、通話が途切れることがあります。 ●ハンズフリー方式の場合、話しはじめの音声が途切れて聞こえることがあります。

故障かな？と思ったら

ふろ試運転

おふろの水位が安定しないときに行ってください。
ふろ試運転を行っても水位が安定しない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

●「**ふろ試運転**」は台所リモコンで行います。



1 おふろの水を全部抜き、排水栓をする

●おふろに水が残っている状態では正確な水位の設定ができません。

2 沸き上げ設定 を約10秒間押す



3 沸き上げ設定 を2回押す



4 確定 を押す

●おふろに排水栓をしていることを確認してください。



5 確定 を押す

●ふろ試運転を開始します。



▼ 10～30分かかります。



ふろ試運転が正常に終了しました

6 「ふろ試運転完了」の表示を確認して 確定 を押す

●通常の表示に戻ります。

中止するときは 沸き上げ設定 を約10秒間押す

お知らせ

●ふろ試運転中は浴室リモコンに「Si」と表示します。
●おふろに水をはります。
（ふろ試運転後入浴する場合は、おふろの水を全部抜いてからふろ自動を行ってください。）
●おふろに水が残っている状態でふろ試運転を行うとエラーコードを表示して運転を停止します。
27～29ページ
おふろの水を全部抜いてから再度ふろ試運転を行ってください。

エラーコード

異常・故障の場合はリモコンにエラーコードを表示します。

●異常・故障の場合はリモコンにエラーコードとQRコード(※)を表示します。
●エラーコードを表示したときは、以下の表に従って確認・処置を行ってください。
確認・処置を行ってもエラーコードが消えない場合や、表にないエラーコードを表示したときは、「**表にないエラーコードを表示したとき**」に従ってください。28ページ
●確認・処置後、確定を約10秒間押してエラーコードを消してください。
●エラーコードと同時に表示するQRコードを読み取るとエラーコードの処置方法を調べることができるWebページが開きます。
QRコードは消すことができます。リモコン取扱説明書参照

※QRコードは台所リモコンのみに表示します。
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

エラーコード・QRコード表示位置

表示画面は説明のためのもので実際とは異なります。



エラーコード	説　明	確　認　・　処　置
E16	断水の状態で給湯した	「**断水したとき**」を参照して処置を行ってください。20ページ
F00	残り湯がある状態でふろ試運転を行った	おふろの水を全部抜いてから、再度ふろ試運転を行ってください。26ページ
F03 F63	おふろのお湯が認識できない	おふろの排水栓が抜けている場合は排水栓をしてください。 循環口フィルタにゴミなどがつまっていないことを確認してください。10ページ
F16 F56	断水の状態でお湯はりした	「**断水したとき**」を参照して処置を行ってください。20ページ

故障かな？と思ったら

表にないエラーコードを表示したとき

●以下の処置を行ってください。

エラーコードを確認する

エラーコードを消す

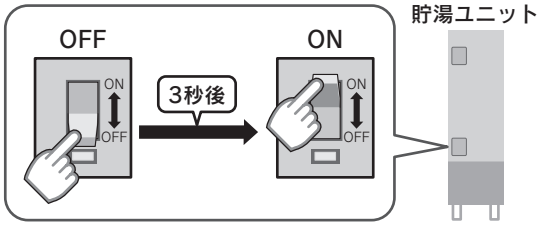
確定を約10秒間押してください。

消えた → **通常通り使用できます**

消えない

エラーコードを消す

漏電遮断器を3秒以上「**OFF**」にした後、再度「**ON**」にする



消えた → **通常通り使用できます**

消えない → 「**エラーコード表示中に使用できる機能**」（29ページ）に記載されている「**使用できる機能**」を確認する

何もしないのにエラーコードが消えた（自動復帰した）

通常通り使用できます

再度同じエラーコードを表示した

「**エラーコード表示中に使用できる機能**」（29ページ）に記載されている「**使用できる機能**」を確認する

○印がある

○印のある機能は応急的に使用できます
お早めにお買い求めの販売店に点検を依頼してください

エラーコード表示中に使用できる機能

●エラーコードを表示しても○印の機能は応急的に使用できます。
●エラーコードを表示したときは、お早めにお買い求めの販売店に点検を依頼してください。

表示しているエラーコード	説　明	使用できる機能(※1)		
		沸き上げ(※2)	シャワー・じゃ口の使用	ふろ自動と追いだき
C C30 E E32 E33 F F59 H H9 H31 H32 H33 H34 H35 H65 J J6 J8 768	タンク温度検知エラーなど	○	○	○
E E1 E6 E7 E8 EC F F3 H H0 H6 H8 H15 H30 H70 HC HJ J J3 J5 L L4 L5 P P4 U U0 U2 U4 U45 U54 U76 UF	ヒートポンプエラー	×	○(※3)	○(※3)
E E16 E31 E65	給湯エラー	○	×(※4)	○
F F00 F03 F16 F25 F31 F32 F43 F45 F46 F54 F56 F63 F65	ふろエラー	○	○	×
740 750 760	リモコンエラー	×	○	×

※1 記載のない機能は使えません。
※2 タンクの水を沸かします。
※3 タンクのお湯が減ったり温度が下がったりすると、お湯の使用や追いだきができなくなります。
※4 リモコンに表示している給湯温度ではなく、熱いお湯や水が出ますので使用しないでください。

仕　様

仕様表(JIS C 9220：2018に基づく表示)

種類				昼間沸上げ形自然冷媒(CO_2)家庭用ヒートポンプ給湯機				
機能				高圧パワー給湯eco とくフルオートタイプ	高圧力型フルオートタイプ			
システム形名				EHP-3705AZP-PV	EHP-3705BX-PV	EHP-4605BX-PV	EHP-3705BX-PV-K	EHP-4605BX-PV-K
貯湯ユニット形名				ET-3705AZP-PV	ET-3705BX-PV	ET-4605BX-PV	ET-3705BX-PV-K	ET-4605BX-PV-K
ヒートポンプユニット形名				EHPE-4560S	EHPE-4560	EHPE-6060	EHPE-4560K	EHPE-6060K
システム	電源			単相200V　50/60Hz(制御電源含む)				
	最大電流		A	17		19	17	19
	電源容量		A	20				
	年間給湯保温効率(JIS)※1			3.6	3.5			
	寒冷地年間給湯保温効率(JIS)※6			―			3.1	
	夜間消費電力量比率 ※1		%	5				
貯湯ユニット	設置区分			屋外(防雨)/屋内兼用型				
	タンク容量		L	370		460	370	460
	タンク材質			特殊ステンレス鋼板				
	消費電力	熱交循環ポンプ ※2	W	4				
		ふろ循環ポンプ ※2	W	45				
		沸き上げポンプ ※3	W	3		4	3	4
		制御	W	4				
		凍結予防ヒータ	W	46			106	
	給湯温度	給湯側	℃	Lo(給水温度)/約32/35/37～50(1℃刻み)/55/60				
		浴そう側	℃	約35～48(1℃刻み)/60				
	沸き上げ温度		℃	「**おまかせ**」：約65～90　「**多め**」：約75～85				
	最高使用圧力		kPa	360	240			
	外形寸法　高さ×幅×奥行		mm	2,130×560×660	1,825×630×730	2,137×630×730	1,825×630×730	2,137×630×730
	質量(製品質量/満水時質量)		kg	68/438	66/436	74/534	66/436	74/534
	安全装置			漏電遮断器				
	電流ヒューズ			ヒューズ 250V 5A				
	設置可能最低外気温度		℃	−10			−20	
ヒートポンプユニット	設置区分			屋外(防雨)型				
	中間期標準 ※3	加熱能力/消費電力	kW	4.5/0.940	4.5/0.990	6.0/1.310	4.5/0.940	6.0/1.320
		運転電流	A	5.5	5.2	6.9	6.0	6.9
	冬期高温 ※4	加熱能力/消費電力	kW	4.5/1.50		6.0/2.00	4.5/1.50	6.0/2.00
	ドレンパンヒータ消費電力		W	―			95	
	運転音 ※5 (音響パワーレベル)	中間期 ※3/ 冬期高温 ※4	dB	51/56		54/58	51/58	53/58
	設計圧力	高圧部/低圧部	MPa	14.0/8.5				
	外形寸法　高さ×幅×奥行 (　)は配管カバーの寸法		mm	675×825(+74)×300			717×825(+74)×300	
	質量		kg	51	46	53		54
	冷媒名/充填量		kg	R744(CO_2)/1.07	R744(CO_2)/0.73	R744(CO_2)/1.10		
	電流ヒューズ			ヒューズ 250V 25A				
	設置可能最低外気温度※8		℃	−10			−25	
付属品				ドレンエルボ・取扱説明書・工事説明書・保証書			取扱説明書・工事説明書・保証書	

仕様表別表(JIS C 9220：2018に基づく表示)　省エネルギー法に基づく区分名、年間給湯保温効率、寒冷地年間給湯保温効率

年間給湯保温効率(JIS)※1	3.6	3.5		
寒冷地年間給湯保温効率(JIS)※6	―			3.1
区分名 ※7	E			F

●この仕様値は50/60Hz共通です。
●停止しているときも、約4～14Wの電力を消費します。(季節によって数値は変わります。)
●低外気温時は除霜のため加熱能力が低下することがあります。
●設置可能最高外気温度は43℃です。
●運転特性はJIS C 9220に基づいた数値です。
●昼間消費電力量比率(JRA 4085：2022冬期給湯モード性能試験条件時)は70%です。

※1 年間給湯保温効率(JIS)は日本産業規格JIS C 9220に基づき、ヒートポンプ給湯機を運転したときの単位消費電力量あたりの給湯熱量および保温熱量を表したものです。なお、値は「おまかせ省エネ」で測定した値であり、実際には地域条件・運転モードの設定や使用条件などにより変わります。
年間給湯保温効率(JIS)＝1年間で使用する給湯とふろ保温に係る熱量÷1年間で必要な消費電力量
年間給湯保温効率(JIS)算出時の条件
着霜期高温加熱条件：外気温度2℃DB/1℃WB、給水温度5℃、沸き上げ温度90℃
冬期給湯保温モード条件：外気温度7℃DB/6℃WB、給水温度9℃、沸き上げ温度65℃
着霜期給湯保温モード条件：外気温度2℃DB/1℃WB、給水温度5℃、沸き上げ温度3705タイプは67℃、4605タイプは65℃
夜間消費電力量比率：JIS C 9220冬期給湯保温モード条件にてヒートポンプ給湯機を1日運転したときの総消費電力量に対する夜間消費電力量の比率

※2 追いだき運転時

※3 中間期加熱条件：外気温度16℃DB/12℃WB、給水温度17℃、出湯温度65℃

※4 冬期高温加熱条件：外気温度7℃DB/6℃WB、給水温度9℃、出湯温度90℃

※5 JIS C 9220に基づき反響音の少ない無響室で測定した数値です。実際に据え付けた状態で測定すると周囲の騒音や反響を受け表示数値より大きくなるのが普通です。

※6 寒冷地年間給湯保温効率(JIS)は次世代省エネルギー基準Ⅱ地域(盛岡)を想定し、年間給湯保温効率(JIS)を表したものです。
寒冷地冬期高温加熱条件：外気温度－7℃DB/－8℃WB、給水温度5℃、沸き上げ温度85℃

※7 省エネ法に基づく区分名
区分名Eとは　想定世帯：標準　貯湯容量：320L以上550L未満　仕様：寒冷地仕様以外　貯湯缶数：1缶　の製品
区分名Fとは　想定世帯：標準　貯湯容量：320L以上550L未満　仕様：寒冷地仕様　　貯湯缶数：1缶　の製品

※8 ヒートポンプユニットは－20℃から－25℃で沸き上げが可能ですが、タンク全量沸き上げできないことがあります。

アフターサービス

修理を依頼するとき

●「**故障かな？と思ったら**」22～29ページをもう一度確認していただき、直らないときは、
お買い求めの販売店にご連絡ください。

●修理を依頼するときは、お買い上げ日と右の内容をお知らせください。
●修理料金は①技術料＋②部品代＋③出張料などで構成されています。
①診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・試運転などの作業にかかる料金です。
②修理に使用した部品代金です。
③製品のある場所に技術者を派遣するための料金です。

お買い上げ日	年　月　日
販売店名	
	電話番号

品名	昼間沸上げ形自然冷媒(CO_2)家庭用ヒートポンプ給湯機
貯湯ユニット形名	ET- （貯湯ユニットの前パネルの銘板に記載されています。2ページ）
故障の状況	できるだけ詳しく
お名前・ご住所・電話番号・訪問ご希望日	

※お買い上げ時に　　の欄に必要事項をご記入ください。

保証・修理について

●この機器には「**保証書**」がついています。
正常な使用状態において故障した場合には、保証書の規定に従って修理いたします。
●保証期間はお買い求めいただいた日から本体が1年、冷媒装置（圧縮機、水空気熱交換器、冷媒配管回路など）が3年、タンクの水漏れが5年です。
●凍結による故障の場合は、保証期間内でも有料になります。
●水質が原因の故障(※)は、保証期間内でも有料になる場合があります。
詳しくは「**使用する水について**」を参照してください。8ページ
※析出物（炭酸カルシウムなど）によるつまり、腐食による水漏れなど
●保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店にご連絡ください。

転居または機器を移設するとき

●転居するときはお買い求めの販売店にご相談ください。
●移設はお買い求めの販売店に依頼し、お客様ご自身で行わないでください。

補修用性能部品について

●補修用性能部品の保有期間は、この製品の製造打ち切り後12年です。
性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。

一般のお客様からのお問い合わせは、フリーダイヤルへ

0120-925-339
携帯電話からは **0570-666-339**
（通話料金がかかります）

お客様から取得いたしました個人情報は、お客様へのお問い合わせ対応を目的として利用し、適切に管理します。修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。

※電話番号をよくお確かめの上、おかけ間違いのないようにお願いします。

修理に関するお問い合わせ　**24時間365日受付**

商品に関するお問い合わせ　平日　8:10～18:00
土日祝　8:10～17:00

愛情点検



長年ご使用のおひさまエコキュートの点検を！

こんな症状はありませんか
- ●お湯の出が悪い。
- ●お湯が早くなくなる。
- ●逃し弁から夜間、常にお湯が出る。
- ●ときどき漏電遮断器が「OFF」になる。
- ●その他の異常や故障がある。

ご使用中止
故障や事故防止のため、分電盤の200V電源ブレーカを切り、機器の漏電遮断器を「OFF」にした後、給水元栓を閉めて、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。

住宅設備機器総合メーカー
株式会社 長府製作所　CHOFU

本社　〒752-8555 山口県下関市長府扇町2-1